

革新的がん医療実用化研究事業 令和4年度 事後評価実施課題一覧

※所属は、評価実施日時点

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
【領域1】がんの本態解明に関する研究						
1	R2	R4	青木 一教	国立がん研究センター	副所長	肺がん・膵がん免疫微小環境の分子基盤解明に基づいた、個別化療法に直結する新たな免疫学的分類の提唱
2	R2	R4	青木 淳賢	東京大学	教授	がん免疫におけるリゾリン脂質シグナルの意義解明とリゾリン脂質受容体を標的とした抗がん剤開発
3	R2	R4	川内 大輔	国立精神・神経医療研究センター	室長	遺伝子変異に応じたがんシグナルの同定を基盤とした小児脳腫瘍の新規治療法に関する研究開発
4	R2	R4	清井 仁	名古屋大学	教授	PDX治療モデルを併用した治療抵抗性急性骨髄性白血病クローン成立過程に生じる分子病態に基づく層別化システムの確立と標的治療薬開発に関する研究
5	R2	R4	高阪 真路	国立がん研究センター	ユニット長	戦略的創薬に向けたハイスループット機能解析法による網羅的バイオマーカー探索
6	R2	R4	近藤 格	国立がん研究センター	分野長	がんゲノム医療の限界を克服する患者由来「希少がん」モデルを用いた研究
7	R2	R4	下田 和哉	宮崎大学	教授	遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づくATL個別化診療の確立
8	R2	R4	森 泰昌	国立がん研究センター	医員	ゲノム解析に基づいた造血細胞移植後2次固形がん最適個別化医療の実現
9	R2	R4	青木 一教	国立がん研究センター	副所長	腫瘍内浸潤骨髄由来抑制細胞を標的とした、膵がんでの新たな化学免疫療法の開発
10	R2	R4	大島 正伸	金沢大学	教授	大腸がん微小転移巣形成機構の理解による新規予防治療戦略の確立
11	R2	R4	片岡 圭亮	国立がん研究センター	分野長	単一細胞マルチオミクス解析による悪性リンパ腫の腫瘍細胞と微小環境の多様性の網羅的解明
12	R2	R4	清谷 一馬	がん研究会	グループリーダー	リンパ節T細胞の単一細胞TCR・遺伝子発現解析とがん免疫療法への応用
13	R2	R4	坂田(柳元) 麻実子	筑波大学	准教授	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫における微小環境ネットワークの標的治療開発
14	R2	R4	戸塚 ゆ加里	日本大学薬学部	教授	集学的アプローチを用いた環境要因による発がん機構の解明と予防法の確立
15	R2	R4	谷内田 真一	大阪大学	教授	大腸癌ハイリスク患者の癌発症に関わる腸内環境変動の解明とそれに基づく大腸癌個別化予防法の開発に関する研究
16	R2	R4	柴田 龍弘	国立がん研究センター	分野長	国際共同研究に資する大規模日本人がんゲノム・オミックス・臨床データ統合解析とゲノム医療推進に向けた知識基盤構築
17	R2	R4	園下 将大	北海道大学	教授	副作用の論理的低減による新規膵臓がん薬物組み合わせ療法の開発
18	R2	R4	大黒 多希子	金沢大学	教授	閉経後ホルモン依存性子宮体癌の発症・進展の新たな分子機構-男性ホルモン作用の解析と臨床応用-
19	R2	R4	中西 真	東京大学	教授	老化細胞除去による高齢者発がん抑制療法の開発
20	R2	R4	垣見 和宏	東京大学	特任教授	全ゲノム情報等を用いた腫瘍内免疫応答の解析とネオアンチゲン特異的TCR-T細胞治療法の開発
【領域2】がんの予防法や早期発見手法に関する研究						
1	R2	R4	岩崎 基	国立がん研究センター	部長	個人の発がんリスク評価方法の革新的改善に資する疫学研究の推進
2	R2	R4	牛島 俊和	星薬科大学	学長	ピロリ菌除菌後健康人を対象とした世界初エビゲノム発がんリスク診断の実用化
3	R2	R4	松尾 恵太郎	愛知県がんセンター	分野長	がんリスクに対する環境要因・遺伝要因の公衆衛生的インパクトを評価する大規模分子疫学研究
4	R2	R4	吉田 輝彦	国立がん研究センター	部門長	ゲノム医療時代における、がんの遺伝学的中間高リスク群の把握と評価手順の標準化をめざした多施設共同臨床疫学研究
5	R2	R4	中村 清吾	昭和大学	教授	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究
6	R2	R4	武藤 倫弘	京都府立医科大学	教授	家族性大腸腺腫症の重症化リスク低減手法の実用化を目指した臨床介入研究
7	R2	R4	大塚 基之	東京大学	講師	血中反復配列RNAの高感度検出を基盤とした新規膵癌スクリーニング法の検証
8	R2	R4	谷内田 真一	大阪大学	教授	高感度変異解析技術を用いた「胃カメラしながら膵がん検診」の社会実装に係る研究開発
9	R2	R4	青木 大輔	慶應義塾大学	教授	子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究
10	R2	R4	石川 秀樹	京都府立医科大学	特任教授	がん化学予防薬の実用化をめざした大規模臨床研究
11	R2	R4	井上 真奈美	国立がん研究センター	部長	中高年者におけるヘリコバクター・ピロリ菌除菌の胃がん予防効果を評価するための長期追跡研究
12	R2	R4	榎本 隆之	新潟大学	特任教授	HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究
13	R2	R4	大内 憲明	東北大学	客員教授	超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験
14	R2	R4	工藤 進英	昭和大学	センター長	対策型検診を目指した大腸内視鏡検診の有効性評価のためのランダム化比較試験
15	R3	R4	川名 敬	日本大学	主任教授	子宮頸癌のリスク低減を目的としたヒトパピローマウイルス (HPV) 標的粘膜免疫療法の医師主導治験とコンパニオン診断の開発
【領域3】アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究						
1	H30	R3	吉野 孝之	国立がん研究センター	科長	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
2	H30	R3	小島 隆嗣	国立がん研究センター	医長	切除不能局所進行食道扁平癌を対象とした化学放射線療法後の逐次治療としての抗PD-L1抗体薬療法の安全性・有効性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同臨床第Ib/II相試験
3	H30	R3	池田 貞勝	東京医科歯科大学	准教授	HER2増幅固形癌に対するトラスツズマブ・ペルツズマブ併用療法のバスケットトライアル
4	H30	R3	岡本 勇	九州大学	呼吸器科・診療准教授	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究
5	R2	R4	児玉 栄一	東北大学	教授	Epstein-BarrウイルスによるT/NK白血病・リンパ腫治療薬候補S-FMAUの非臨床試験
6	R2	R4	近藤 豊	名古屋大学	教授	膠芽腫に対するアンチセンス核酸治療薬の実用化に向けた非臨床研究
7	R2	R4	栗原 宏明	神奈川県立がんセンター	部長	難治性悪性脳腫瘍に対する日本発放射性薬剤64Cu-ATSMによる新治療法開発—早期承認を目指す第I相拡大コホート試験の実施
8	R2	R4	後藤 功一	国立がん研究センター	呼吸器内科長	EGFR遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌におけるEGFR阻害薬耐性機序 (G797S耐性変異)を克服する新規治療法の確立を目指した研究
9	R2	R4	藤原 俊義	岡山大学	教授	難治がんに対するp53がん抑制遺伝子搭載武装化アデノウイルス製剤の実用化のための非臨床試験
10	R2	R4	渡邊 慶介	国立がん研究センター	主任研究員	CCR4 を標的としたキメラ抗原受容体遺伝子改変 T 細胞療法の非臨床試験
11	R2	R4	甲斐 知恵子	東京大学	特任教授	遺伝子組換え麻疹ウイルスを用いた抗がんウイルス療法の臨床研究
12	R2	R4	高橋 義行	名古屋大学	教授	CD19陽性悪性リンパ腫に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原陽性受容体遺伝子改変自己T細胞の安全性及び有効性に関する第I/II相医師主導治験
13	R2	R4	玉田 耕治	山口大学	教授	がん認識抗体とCAR-T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験
14	R2	R4	中沢 洋三	信州大学	教授	CD116陽性急性骨髄性白血病および若年性骨髄単球性白血病を対象とする非ウイルス遺伝子改変GMR CAR-T細胞のFIH医師主導治験
15	R3	R4	吉野 孝之	国立がん研究センター	科長	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験
【領域4】患者に優しい新規医療技術開発に関する研究						
1	R2	R4	中村 雅史	九州大学	教授	十二指腸液を用いた膵がん早期診断マーカーの実用化に向けた臨床研究
2	R2	R4	吉田 達哉	国立がん研究センター	医員	進行期固形がん患者における初回治療時のがん遺伝子プロファイリング検査の臨床的有用性を検討する臨床研究
3	R2	R4	佐伯 一成	山口大学	講師	肝細胞癌に対する高感度DNAメチル化解析による簡便かつ低コストスクリーニング検査の研究開発
4	R2	R4	長谷川 藍子	信州大学	助教	骨髄系腫瘍に対するCAR-T細胞の薬事承認に向けたコンパニオン診断薬の開発
5	R2	R4	小林 信	国立がん研究センター	医長	切除可能大腸癌肝転移における血液循環腫瘍DNAを用いた補助化学療法の個別最適化を目的としたproof of conceptのための多施設共同研究
6	R2	R4	横井 暁	名古屋大学	助教	卵巣がんゲノム搭載細胞外小胞による新規リキッドバイオプシー戦略
7	R2	R4	炭山 和毅	東京慈恵会医科大学	教授	深層学習アルゴリズムを活用した大腸内視鏡用診断支援プログラムの実用化研究
8	R2	R4	森本 尚樹	京都大学	教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発～高圧処理新規医療機器の研究開発
9	R2	R4	立石 宇貴秀	東京医科歯科大学	教授	前立腺特異的膜抗原をターゲットにした前立腺癌の画像診断法の確立と実用化に向けた機器開発に関する研究
10	R2	R4	田中 将太	東京大学	講師	脳腫瘍を術中標識する局所投与型新規蛍光プローブの開発
11	R2	R4	秋元 哲夫	国立がん研究センター	科長	頭頸部扁平上皮癌に対する強度変調陽子線治療の実用化に向けた技術開発と有効性検証
12	R2	R4	佐々木 良平	神戸大学	教授	吸収性スプレーを用いた体内空間可変技術の定位放射線治療への展開
13	R2	R4	永田 靖	広島大学	教授	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験
【領域5】新たな標準治療を創るための研究						
1	H30	R3	加藤 健	国立がん研究センター	科長	局所進行食道癌に対する新しい術前治療の確立する研究
2	H30	R3	松村 到	近畿大学	学部長	慢性骨髄性白血病患者における第二世代チロシキナーゼ阻害薬の中止後の無治療寛解の評価と最適化
3	R2	R4	上野 秀樹	防衛医科大学校	教授	Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関する研究
4	R2	R4	江藤 正俊	九州大学	教授	進行性腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験
5	R2	R4	岡田 守人	広島大学	教授	臨床病期I/II期非小細胞肺癌におけるリンパ節郭清の縮小化の治療的意義を検証するランダム化比較試験
6	R2	R4	岡田 守人	広島大学	教授	特発性肺線維症 (IPF) 合併臨床病期I期非小細胞肺癌に対する肺縮小手術に関するランダム化比較第III相試験
7	R2	R4	有本 貴英	虎の門病院	部長	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
8	R2	R4	北川 雄光	慶應義塾大学	教授	早期胃癌に対するセンチネルリンパ節生検を用いた個別化、縮小手術の安全性と有効性を検証することを目的とした検証的多施設共同第3相試験
9	R2	R4	寺島 雅典	静岡県立静岡がんセンター	副院長	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第III相試験
10	R2	R4	佐藤 豊実	筑波大学	教授	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
11	R2	R4	枝園 忠彦	岡山大学病院	講師	Stage IV 乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に関する研究

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
12	R2	R4	高島 淳生	国立がん研究センター	医長	Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験
13	R2	R4	武隈 宗孝	静岡県立静岡がんセンター	医長	子宮頸癌 I B期- II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第III相ランダム化比較試験
14	R2	R4	田原 信	国立がん研究センター	頭頸部内科長	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
15	R2	R4	坪佐 恭宏	静岡県立静岡がんセンター	部長	切除不能または再発食道癌に対する CF (シスプラチン +5 FU) 療法と bDCF (biweekly ドセタキセル +CF) 療法のランダム化第 III 相比較試験
16	R2	R4	宮崎 泰司	長崎大学	教授	t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究
17	R2	R4	渡辺 俊一	国立がん研究センター	科長	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究
18	R2	R4	奥坂 拓志	国立がん研究センター	肝胆膵内科長	切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン+シスプラチン+S-1 (GCS) 療法の第III相試験
19	H29	R3	木股 敬裕	岡山大学	教授	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援
20	R2	R4	明智 龍男	名古屋市立大学	教授	がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究：革新的臨床試験システムを用いた多相最適化戦略試験
21	R2	R4	荒井 保典	国立がん研究センター	医長	有痛性骨転移患者の疼痛制御のための即効性を有する新規治療開発
22	R2	R4	松岡 弘道	国立がん研究センター	科長	オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験
23	R2	R4	田村 雄一	国際医療福祉大学	教授	免疫チェックポイント阻害薬の安全な使用に資するirAE心筋障害スクリーニング手法と危険因子の探索研究
【領域6】 ライフステージやがんの特性に着目した重点研究						
1	R2	R4	足立 壮一	京都大学	教授	小児急性骨髄性白血病 (de novo AML)に対する標準的治療法の確立
2	R2	R4	塩田 曜子	国立成育医療研究センター	医長	小児およびAYA世代のランゲルハンス細胞組織球症LCHに対するシタラビン/ビンクリスチンを中心とした晩期合併症阻止を目指した新規治療法の開発と長期フォローアップ研究
3	R2	R4	豊田 秀実	三重大学	准教授	再発小児急性リンパ性白血病の標準治療確立を目的とした第III相国際共同臨床試験
4	R2	R4	早川 文彦	名古屋大学	教授	AYA世代および成人T細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用における限界年齢と新規バイオマーカー探索に関する研究
5	R2	R4	原 純一	大阪市立総合医療センター	顧問	小児特有の脳腫瘍に対する標準治療確立のための全国多施設共同研究
6	R2	R4	檜山 英三	広島大学	特任教授	小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発
7	R2	R4	細井 創	京都府立医科大学	特任教授	小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発
8	R2	R4	村松 秀城	名古屋大学	講師	「若年性骨髄単球性白血病 (JMML) に対する標準的治療法の確立を目指した第2相臨床試験」の開発
9	R2	R4	真部 淳	北海道大学	教授	小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立：フォローアップ課題
10	R2	R4	浅村 尚生	慶應義塾大学	教授	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
11	R2	R4	尾崎 敏文	岡山大学	教授	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
12	R2	R4	金光 幸秀	国立がん研究センター	科長	小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究
13	R2	R4	福田 隆浩	国立がん研究センター	科長	成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究
14	R2	R4	本間 明宏	北海道大学	教授	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究
15	R2	R4	柴 徳生	横浜市立大学	准教授	小児急性骨髄性白血病における簡便かつ高精度のリスク層別化の構築
16	R2	R4	関水 匡大	名古屋医療センター	室長	小児・AYA世代の限局期成熟B細胞性リンパ腫に対する標準的治療開発
17	R2	R4	坂井 健良	慶應義塾大学	助教	子宮体癌/子宮内膜異型増殖症に対する妊孕性温存治療後の子宮内再発に対する反復高用量黄体ホルモン療法に関する第 II 相試験
18	R2	R4	服部 浩佳	名古屋医療センター	室長	がん遺伝的素因を有する小児・AYA世代へのフォローアップ体制確立を目指したLi-Fraumeni症候群におけるがんサーベイランスプログラムの実行可能性と新規バイオマーカー探索に関する研究
19	R2	R4	黒田 達夫	慶應義塾大学	教授	小児からAYA世代胚細胞腫瘍の治療毒性低減とmiRNA発現の生物学的特性解明を目指した国際共同臨床試験
20	R4	R4	豊田 秀実	三重大学	准教授	小児AYA世代再発難治急性リンパ性白血病における標準治療確立を目的としたレジストリ研究
21	R4	R4	山本 将平	東海大学	准教授	小児・AYA世代高リスク再発急性リンパ性白血病に対するイノツツマブオゾガマイシンとmini-hyper CVDIによる寛解導入療法の第II相臨床試験
22	H29	R3	濱口 哲弥	埼玉医科大学	教授	超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立のための研究
23	H29	R3	小西 大	国立がん研究センター	副院長	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
24	R2	R4	荒川 芳輝	京都大学	講師	高齢者初発膠芽腫に対するテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究
25	R2	R4	山内 高弘	福井大学	教授	高齢者急性骨髄性白血病の化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験：JALSG-GML219試験
26	R2	R4	吉田 和弘	岐阜大学	教授	病理学的Stage II/IIIで“vulnerable”な80歳以上の高齢者胃癌に対する開始量を減量したS-1術後補助化学療法に関するランダム化比較第III相試験
27	R2	R4	下井 辰徳	国立がん研究センター	医長	遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の標的治療に関する患者申出療養の実施体制構築

No.	開始年度	終了年度	研究代表者	所属機関	役職	研究開発課題名
28	R2	R4	成田 善孝	国立がん研究センター	科長	がん幹細胞を標的とした初発芽腫の放射線+テモゾロミド+メトホルミン併用療法の第I・II相臨床試験
29	R2	R4	八田 善弘	日本大学	教授	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対するボナチニブを組み込んだ治療法の確立と分子基盤の解明
30	R2	R4	上野 誠	神奈川県立がんセンター	教授	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究
31	R2	R4	溝脇 尚志	京都大学	教授	難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究
32	R2	R4	牧野 好倫	埼玉医科大学	教授	薬物動態/薬力学的指標を変動要因とする用量-反応関係に基づくアムルビシン療法に伴う好中球減少の重篤化回避のための治療薬物モニタリング試験
33	R3	R4	濱田 哲暢	国立がん研究センター	分野長	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究（フォローアップ）